

2020年東京大会の成功のために

東京オリンピック・パラリンピック担当大臣 橋本 聖子

1. 万全の準備で開幕を迎える

⇒「アスリートファースト」の視点。

- ☆ 日本の競技力の強化（人間力を育てる）
- ☆ トップアスリートの最高のパフォーマンスを支える

⇒安全・安心の確保。

- ☆ 56のテストイベント
- ☆ セキュリティ対策、輸送対策、暑さ対策、感染症対策 など

2. 自国開催の意義

⇒成熟社会におけるオリンピック・パラリンピックの開催

- ☆ 持続可能性（世界の課題に対して日本から発信）

⇒共生社会の実現

- ☆ 史上初の同一都市で2度目のパラリンピック
- ☆ 「ユニバーサルデザインの街づくり」と「心のバリアフリー」

⇒スポーツの力、「する・みる・ささえる」をより大きなつながりに

- ☆ 困難を克服する力を育てる
- ☆ 地域活性化（観光、食など）、健康寿命の延伸

⇒日本全体の祭典に。

- ☆ ホストタウン
- ☆ 文化等（beyond2020プログラム、beyond2020マイベストプログラム等）

3. 「復興オリンピック・パラリンピック」

⇒復興にスポーツが果たす役割。復興を後押しし、世界に発信する。

- ☆ 復興ありがとうホストタウン
- ☆ 聖火リレー・「復興の火」、被災地産食材 など